

# No. 1350

## 中日、牛島を指名

— '79ドラフト会議 —

あすのプロ野球をにやう新人選手を指名する1979年度プロ野球ドラフト会議が11月27日東京九段のホテル・グランドパレスで行われた。第1回目の指定では、中日、ロッテ、広島が3球団が1位選手を単独指名し、中日は夏の甲子園をわかせた浪商のエース牛島投手を獲得した。注目の岡田選手には予想どおり、阪神、近鉄などセ・パ両リーグ合わせて6球団が名乗りを上げ抽選となった。この結果、見事岡田選手を射止めたのは昨年の江川に続いて強運ぶりを発揮した阪神。社会人ナンバーワンの木田投手は巨人、大洋、日本ハムの3球団の争いになったが日本ハムが引き当てた。このほか2年ぶりに出席した巨人は市立尼崎高の林投手、近鉄は名城大の藤原投手などを指名、ドカベンのお愛称で人気者の香川捕手は2回目の指名で南海が獲得したこのあと同会場では今年のプロ野球をしめくくるセ・パ両リーグ各賞の表彰式が行われた。セリーグ最優秀選手賞には広島江夏投手、ホームラン王は阪神の掛布選手、新人王では昨年のドラフトで中日に1位で入団した藤沢投手が受賞した。

中国レポート

## 劇画で日中友好を

森哲郎さん、51才。劇画作家として知られ、これまで秩父事件や日本国憲法などを劇画手法で紹介してきた。今森さんのテーマは「日中友好」を劇画で果たすことである。このため森さんは、10月下中、中国をスケッチする旅に出た。広州から南寧・昆明を経て北京へ。これが今回のコースである。9億6千万を越えるといわれる中国、人口問題は深刻だ。中国には56の民族約5600万の少数民族がいるが、南寧では少数民族の幹部を養成する大学を訪問。人民公社。全人口の8割を占める農民。

「農業の近代化」が叫ばれているが、日本でいえば、戦後間もない頃だろうか、至るところで手作業をしている人々に出合った。東京の上野動物園では今年の9月、ランランが死亡、悲しみを誘ったが、パンダは中国でも人気の的。3年前のあの天安門事件がまるで、うそのように静かな落ちつきを見せる天安門広場。さまざまな意見がはやり出される壁新聞。「民主の壁」は中国の民主化運動として注目されている。中国の旅から帰った森さんはスケッチの整理で忙しい毎日。日中友好に一役買う劇画の本が来春には出版される予定だ。